

貧困のただ中で学び、社会貢献する模範青年9人を表彰

ウボンラット王女から記念の盾を授与

タイ証券取引所の支援を受けてドゥアン・プラティープ財団が毎年行っている「模範青年賞」の授与式が10月20日、クロントイの財団本部で行われました。表彰は「教育と自己啓発」、「親孝行」、「地域社会への貢献と改善」の3部門で、それぞれ3名計9名が選ばれました。受賞者にはタイ王室のウボンラット王女から表彰盾も贈られました。来年5月には王女を訪問して活動を報告する予定です。

受賞者は次の通り。

【教育と自己啓発部門】

1. アノン・ナー 21歳 ガラヤニ・ワッタナー音楽専門学校3年

クロントイスラム在住。母と祖母が屋台でお惣菜を売って生計を立てる中、5歳から近くの教会に通ってバイオリンの稽古を始めた。上達してタイとフランスとの国交160周年記念式典などで演奏し、バイオリニストをめざしている。留学経験もある。



2. タナワット・シーパー 21歳 ラチャバット大学4年

東北タイのマハーサラカム出身。首都の大学で学びながら土日や長期休暇には故郷に戻り、農作業をしている両親を手伝っている。大学の成績は4点満点の3.8。子どもたちに「ケーン」と呼ばれる伝統楽器長笛の指導もしている。卒業後は公立小学校の教員になることも決まっている。



3. マニラット・プラソンラグアー 25歳 タマサート大学4年

生まれた時から目が見えない。首都郊外のスラムで、日雇いの仕事をする両親と共に過ごしているが、何事も知りたい、聞きたいと強い意欲がある。ろうあ学校で勉強を重ね、成績優秀でタイ王室シリントン王女の奨学金を受けて学び続け、今はタイの難関大学の一つであるタマサート大学社会学部で学んでいる。大学院にも進んで、福祉の仕事に就くのが夢。



【親孝行部門】

1. アディソン・ソイアンパー 20歳

テクニック・サムサコーン専門学校1年

タイ南部サムットサコーン県在住。両親はいないため、漁師をしている祖父母に育てられた。子どもの頃から電気工事を手伝い、今はアルバイトで家計を支えている。毎年1月の「こどもの日」に働きながら学ぶ努力が表彰されたこともある。高齢者、障がい者の支援にも参加している。



2. キティアナン・ピティポー 17歳 ノンシーウイッタヤー高校2年

クロントイスラムで父と妹の3人暮らし。小学校1年の時からドゥアン・プラティープ財団の奨学金を受けて学び、現在の成績は4年満点中3.97。放課後は花輪づくりに精を出して家計を支えている。将来は大学に進学して、医者になるのが目標。



3. シャノクナーン・カンゲオ 21歳 スクンスナダー大学4年

タイ南部チュンボン県で育ち、いま首都の大学で学んでいる。家族はゴム園で働く両親と妹の4人。休暇は故郷に戻って両親を手伝うかたわらお寺で修業し、子どもたちに仏教にちなむ絵本の読み聞かせも行っている。将来は地元で教師になるのが願い。



【地域社会への貢献と改善部門】

1. ジャー・クリップ 19歳 ラッチャモンコン大学2年

クロントイスラムで育ち、ドゥアン・プラティーブ財団が開設している低利融資の信用組合の普及を住民の間を回って努めている。また住民を訪ねるかたわらゴミの回収など環境改善に取り組み。青少年を麻薬から護る運動にも参加している。



2. バッチャラー・ペンジャロン 19歳

テクニック・ウイサワカム・レムチャバン専門高校1年

タイ南部チョンブリ県在住。父は保健所職員、母は看護師。両親がエイズ対策や麻薬防止運動に取り組んでいる活動と一緒に参加。青少年に正しい性教育を普及するのに講師の一員として参加している。土、日は地域でのボランティア活動に尽くしている。



3. ウイラポン・スリースコン 19歳 ヤンヤオ高校3年

プーケット島に近いパンガー県在住。2004年に同地を襲った大津unamiで親を失うなどした子どもたちを支えるため、ドゥアン・プラティーブ財団が開設したバーン・タムナムチャイ財団寮で7歳の時から育った。現在、家庭崩壊などで行き場を失った子ら79人が入居しており、“お姉さんボランティア”として活躍している。

